



EMC技術の明日をひらく——  
**DENKENSEIKI**



# イスクットトランス™

障害波遮断変圧器

NCT-F3型・F4型

入出力共に100V・200V両用で使いやすく  
外観的なデザインにも配慮した  
障害波遮断変圧器です。



新たなノウハウと特許と使いやすさをプラス

# F3型・F4型の特徴

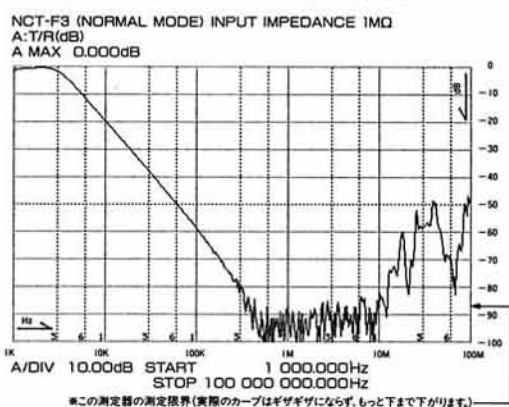
- 取り付け接続のしやすい形状です。
- 高品質の相手機器にマッチしたデザインです。
- 入出力とも切り替えることによって100V又は200V両用でご使用できます。
- 単相ですが3台組み合わせると三相としてお使い頂けます。
- 1kVAから5kVAまで。
- 新たなノウハウを加え、性能は従来のF型よりさらに向上しました。

電子機器のケースの形状で、ノイズ防止上理想的な形は球面体です。次が球状多面体、その次が正立方体です。また、リード線は原則としてシャシ(グランド面)に沿わせるのが良い配線の張り方になります。

《ノイズカットトランス》の最も基本的な形質を備えた当社のFシリーズは、この原則にできる限り忠実な形状に設計してあります。したがって、実際に装着した時の性能・効果は極めて優れているものの、取り付け・配線には、手間どるくらいがありました。そこで、新しいF3型・F4型は、まず取り付け・配線のしやすさから出発して、できる限り原形を失わず、かつ内部構造を工夫することによって性能の低下を捕うように設計し、それに新たなノウハウと特許を加えることによって、これまで以上に良い特性を得ることに成功しました。さらに、取り付けスペースに応じて便利にお選びいただけるようにF3型(縦長)とF4型(横長)の二つの形を用意しました。また、この大きさのもの(電力容量=1kVA~5kVA)は、お客様のハイレードな機器と並べて外置きで使われることも多いため、その高品質なイメージを損なわないように外観にも気を配ってあります。ぜひご検討・ご愛用ください。

なお、密閉ケース入り グラフ(NCT-F3型1kVAノーマルモード減衰率特性)

りになる500VA以下と、冷却ケース入りになる8kVA以上の電力容量(kVA)のものからお選びください。従来のF型は今後F1型ファミリとして、引き続きご愛顧にお応えしてまいります。



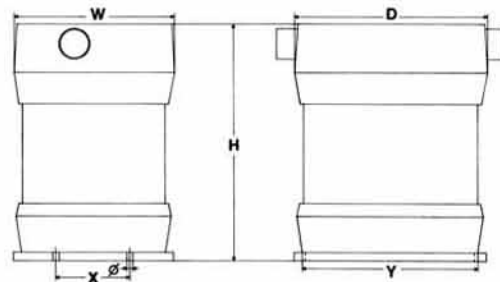
標準外形寸法・重量表

NCT-F3型

単位 mm

容量	X	W	D	Y	H	φ	質量kg
1kVA	76	160.5	196	178	245	7	22
2kVA	98	200	220	204	289	7	37
3kVA	110	230.5	278.5	262	296	9	49
5kVA	110	230.5	278.5	262	356	9	69

外形図



F3型

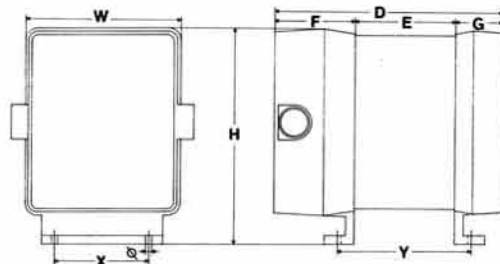
標準外形寸法・重量表

NCT-F4型

単位 mm

容量	X	W	D	E	F	G	Y	H	φ	質量kg
1kVA	90	160.5	235	90	90	55	124	226	7	22
2kVA	120	200	275	115	100	60	159	257	7	37
3kVA	140	230.5	280	90	120	70	142	324	9	49
5kVA	140	230.5	340	150	120	70	202	324	9	69

外形図



F4型

## ノイズカットトランス<sup>TM</sup> は、電研精機研究所が開発して名づけた新時代のノイズ防止素子です。

1960年に当社は、独自の理論展開により世界に先駆けてトランス型のノイズ防止素子を開発実用化し、これに《ノイズカットトランス<sup>TM</sup>》と名づけてきました。

その骨子は、分離絶縁した2コイル間の、原理的にシールドだけでは防止できない高周波の磁束成分を除くことによってノーマルモードノイズをカットアウトし、それによってコモンモードノイズもより完全に防止することにあります。NCTは、ノイズ源と被害側の電気回路を高周波的にも分離絶縁してしまうので、防止効果が徹底的で信頼性に富んでいます。

かつてのアナログ時代なら一過性の被害ですんだノイズ障害が、情報処理装置がデジタル化した今では一瞬にして情報財産を喪失し、システム等の誤動作や破壊、さらには人身事故にまでつながります。デジタル時代はまさに「0」か「1」か、「完璧に効くか」「否か」という厳しい選択基準でノイズ防止用品を選ばねばなりません。

分離絶縁形である《ノイズカットトランス<sup>TM</sup>》は、それに応じて最悪の電磁環境下でもノイズ対策の「切札」となる部品です。高度情報化時代にふさわしく、やがては機器システム用トランスの主流を占めるでしょう。

注意 本カタログ製品を正しく安全にお使いいただくために、据え付け・運転・保守点検の前には、必ず取扱説明書をお読みください。



株式会社 電研精機研究所

本社・工場 / 〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21  
TEL: (0424) 73-3745 FAX: (0424) 74-0613  
大阪営業所 / 〒550-0013 大阪市西区新町1-7-5 フロスベリタ四ツ橋  
TEL: (06) 538-1118 FAX: (06) 538-2777



ソフト&ハード40余年間の経験とノウハウをもとに「ノイズトラブル相談」「ノイズ調査」「現地技術援助」等を承ります。お気軽にご利用ください。

※改良のため予告なく寸法・重量が変更になる場合がありますのでご了承ください。